

設立趣旨書

「子ども食堂」は全国に約9,000か所、相模原市内で52か所(相模原市社会福祉協議会子どもの居場所掲載データによる)の団体があります。

また無料塾などの「学習支援団体」もまた全国的な広がりをみせ、相模原市内で39か所(相模原市社会福祉協議会子どもの居場所掲載データによる)の団体が活動しています。

子ども食堂も学習支援団体も現在の社会状況においては「子どもの居場所」として必要不可欠な存在となっています。

しかし、一方で運営の継続や新規団体の発足等には様々な課題があり、それらを1人の個人や1つの団体で克服していくのはとても困難です。

そこで、相模原市社会福祉協議会子どもの居場所と同様に子ども食堂や学習支援団体等の今後の連携を構築していくために、それぞれの団体や支援企業などの有志が集う「さがみはら子どもの居場所サミット」を立ち上げることとしました。

「子どもの居場所」ネットワークを構築することにより、食材や教育資源の共同利用、運営ノウハウの共通化、資金調達の情報共有、相互支援等が実現でき、安定的な運営と事業の継続性が担保できると考えています。

そのためには、まずは相模原市内の子どもの居場所運営団体がお互いの事業を知り、運営上の課題を共有することが大切です。

そこで年に1回「さがみはら子どもの居場所サミット」を開催いたします。

サミットでは、ロールモデルとなる運営者の講演やグループ討議、お菓子作りの実演や模擬子ども食堂、ミニ学習相談などを展開していきます。子ども食堂や学習支援団体の運営者や利用者、さらに支援者や子どもの居場所を知らない市民の方々にも「知って」いただき「親しんでもらう」ことで、「子どもの居場所」の利用者とサポーターを増やし、事業の担い手を広げていくことを目的とします。

また、これらの活動を相模原市から発信することで県内そして全国へのメッセージの発信拠点として発展継続していく所存です。

子ども食堂も学習支援団体もそれぞれは1つの「拠点」にしか過ぎません。

1つの拠点では支援できる子どもや家庭の数は限られてしまいます。

しかし、その拠点の数と種類が増え、その輪が大きく広がることで1人でも多くの子ども達と接することが可能となります。

この相模原から子どもの居場所の存在意義とその素晴らしさを発信することで、未来を担う子ども達への贈り物が広がることが私たちの願いであり、設立の目的です。

このような活動を行っていくにあたって、公正かつ透明性の高い運営を行い、社会的な信用を得て幅広く活動していくためには法人化が必要と考えます。私たちの事業目的は営利を目的としてはいないため、特定非営利活動法人の設立が望ましいと考えています。このような経緯で「特定非営利活動法人 さがみはら子どもの居場所サミット」を設立いたします。

令和6年3月5日

法人の名称 特定非営利活動法人 さがみはら子どもの居場所サミット

設立代表者 佐竹 輝子